

あの「SEGA AM2研」が放つ待望の新作!!
「3D-CG格闘ゲーム」に新たな伝説が生まれる。



©SEGA 1995



ここ「ARMSTONE CITY (アームストーンシティ)」で一番かっこいいのは「VIPERS (バイパーズ)」と呼ばれる連中だ。
「VIPERS (バイパーズ)」とは、金網に囲まれたリングの中で一対一で戦う「NUICRACK (ナツクラック)」をやっている連中の中で、
路地裏の単なる遊びだったこの戦いも、何故か今年は市長の呼びかけで大がかりなトーナメントになり、
最終決戦は市の中央にそびえる市庁舎「City Tower (シティタワー)」で行われることになった。

FIGHTING VIPERS

(ファイティングバイパーズ)

●●ゲーム概要●●

●モデル2ボード使用の「3D-CG」対戦格闘ゲーム●

●"アーマー(防具)"を身に付けたキャラクター達が、四方を壁に囲まれたリングで1対1の死闘を繰り広げます●

●選択キャラクター：8人●

●操作系：レバー+3ボタン(リーチファイター方式)●

●発売時期：年内発売予定●

●バーサスシティ対応●

●●ゲーム特徴●●

●アーマーが「取れ、防衛力が「変化する」●

キャラクターの体に着ているアーマーは、攻撃によって取れたり砕け散ったりします。パーツが取れた箇所は防衛力が著しく低下するので、これが新しいゲームの駆け引きになっています。

●リングの周囲を壁が「取り囲んでいる」●

全てのリングの周囲を金網などの壁が取り囲んでいるので、壁に叩きつける等壁を使った派手な攻撃ができます。また、リングアウトが無いので、敵をリングの端まで吹っ飛ばすような過激な表現も多く取り入れ、この吹っ飛ばしはこのゲームの大きな特徴となっています。

●派手なエフェクト●

攻撃が「ヒットしたときやアーマーが「取れる」際には、破片の飛び散りや火花などをポリゴンゲームならではの立体的で派手なエフェクトで表現しています。

●簡単操作と豊富な連続攻撃●

パンチボタン連打で連続技が出るなど、比較的簡単な操作で多様な技が出るようになっており"ガード&アタック"や"受け身"などの新機能もシンプルな操作で出来るようになっていきます。

©SEGA 1996

©SEGA 1996

